

AES IT Professional College 2020年度 研修コースのご案内



2020年5月 第2版

■福岡県情報サービス産業協会(FISA)タイアップ研修に関して

弊社は、福岡県情報サービス産業協会様とのタイアップ研修を実施しております。
コースの一部がタイアップとなっておりますので、福岡県情報サービス産業協会の会員企業様は割引価格で受講することができます。
下記へ直接お問い合わせください。弊社へ申し込まれましても割引価格とはなりません。

一般社団法人 福岡情報サービス産業協会

〒814-0001

福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル3F

TEL 092-832-1344 / FAX 092-845-1003

■コースのより詳細な内容は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.aso-education.co.jp/it/>

■人材開発支援助成金(特定訓練コース、一般訓練コース、教育訓練休暇付与コース、特別育成訓練コース)に関して

平成31年4月1日以降に教育訓練・職業能力評価制度助成、セルフ・キャリアドック制度助成の支給申請をされる際にジョブ・カード(写)の提出が必要となります。
詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

又、人材開発支援助成金については、福岡労働局(助成金センター)までお問合せください。

【福岡労働局(助成金センター)】

〒812-0013

福岡市博多区博多駅前博多東2-11-1 福岡合同庁舎本館1F

TEL: 092-411-4701(直)

■研修会場



〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-25-24
八百治ビル4F

麻生教育サービス株式会社
セミナールーム

■お申込み・お問い合わせ

○お申込みは弊社ホームページ(以下)からお願い致します。
http://www.aso-education.co.jp/service/training/it_training.html

○お申込み方法に関してのお問い合わせ
以下、弊社ホームページからお問い合わせいただけます。
<https://www.aso-education.co.jp/contact/inquiry/>
お電話でのお問い合わせは、092-409-7030

○講座内容に関してのお問い合わせ
以下、弊社ホームページからお問い合わせいただけます。
<https://www.aso-education.co.jp/contact/inquiry/>
お電話でのお問い合わせは、092-409-7030 総合人材サービス事業部まで

■お申込み締切り・キャンセルに関して

○受講お申込みの締切りはコース開始日の14日前になります。

○お申込み後のキャンセルは、以下のご負担をお願い致します。

- 1.お申込みをキャンセルされる場合は、遅くともコース開始の10日前までにご連絡ください。
それ以降、5日前のキャンセルにつきましては、受講料の半額を請求させていただきます。
また、コース開始の5日以降(コースに欠席または当日にキャンセルを含む)は、受講料全額を請求させていただきます。
- 2.コース開始日の7営業日前以降の日程変更は、原則として出来かねますので、ご了承ください。
- 3.定員になり次第締め切らせていただきます。
- 4.受講料は、原則コース開始日の3営業日前までにご入金ください。
ご入金の確認が取れない場合は、ご受講いただけない場合がございます。
※営業日は、土・日・祝日・その他当スクール休日を除きます。

■その他

○お申込み人数が最少催行人数(4名)に満たない場合は、コースの開催を中止する場合がございます。その際には、開催日の10日前までには、その旨をご連絡いたします。予めご了承ください。

○カリキュラムは概略です。実際の研修では受講者のレベルやご希望により内容や進め方が変わることがありますので、予めご了承ください。

■ コーススケジュール(カテゴリ順)

※参照項目に「FISA」と表示されているコースは、福岡県情報サービス産業協会(FISA)タイアップ研修です。

参照項目	コース名	実施時間	実施日 (募集締切日)	実施月							
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月以降
■ 統計											
【A08】 FISA	IoT・ビッグデータにも活用！すぐ使える統計解析	3日間 (21時間)	8/4～8/6 (7/21)			■					
■ ヒューマンスキル											
【A02】 FISA	仕事の段取り力養成講座 ～プロジェクト型業務の遂行能力を身につけるために～	2日間 (14時間)	11/12～11/13 (10/29)						■		
【A05】 FISA	エンジニアのためのスキル強化 即効!! 伝わる「書き方」「話し方」	3日間 (21時間)	7/15～7/17 (7/1)		■						
【A16】 FISA	問題解決のための論理的思考力強化	2日間 (14時間)	10/14～10/15 (9/30)					■			
【A18】 FISA	エンジニアのための ロジカルライティング & ロジカルシンキング	2日間 (14時間)	11/17～11/18 (11/3)						■		
【A19】 FISA	エンジニアのための交渉スキル向上のための ロジカルネゴシエーション	2日間 (14時間)	2021/1/20～1/21 (1/6)								■
■ プロジェクトマネジメント											
【A06】 FISA	ITプロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント入門	2日間 (14時間)	7/21～7/22 (7/7)		■						
【A10】 FISA	ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける見積技法	2日間 (14時間)	8/26～8/27 (8/12)			■					
【A14】 FISA	ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける品質マネジメント	2日間 (14時間)	9/24～9/25 (9/10)				■				
【A15】 FISA	ケースに学ぶ ITプロジェクトにおけるリスクマネジメント	2日間 (14時間)	10/8～10/9 (9/24)					■			
【A17】 FISA	プロジェクトチームの現場力向上 ～プロジェクトのファシリテーション～	2日間 (14時間)	10/28～10/29 (10/14)					■			
■ アプリケーション関連											
【A20】 FISA	経産省「サイバーフィジカルセキュリティ対策フレームワーク」対応 セキュリティリスク徹底抑制入門	3日間 (21時間)	2021/2/17～2/19 (2/3)								■
■ ネットワーク/データベース											
【A03】 FISA	2日で学ぶネットワーク基礎技術	2日間 (14時間)	7/1～7/2 (6/17)		■						
【A11】 FISA	2日で学ぶネットワーク応用技術	2日間 (14時間)	9/1～9/2 (8/18)				■				
【A13】 FISA	即効！パフォーマンスを上げる DB/SQLチューニング	3日間 (21時間)	9/16～9/18 (9/1)				■				
■ 技術系(プログラミング その他)											
【A01】 FISA	C# ではじめるWindowsプログラミング	3日間 (21時間)	12/9～12/11 (11/25)							■	
【A04】 FISA	Pythonの基礎と文章解析	3日間 (21時間)	7/8～7/10 (6/24)		■						
【A07】 FISA	ASP.NET Core MVC (C#編)	3日間 (21時間)	7/28～7/30 (7/14)		■						
【A09】 FISA	New IoTに活用！ ハードの知識ゼロから始める計測・記録実験講座	3日間 (21時間)	8/19～8/21 (8/5)			■					
【A12】 FISA	Raspberry Pi で学ぶPython+機械学習	3日間 (21時間)	9/8～9/10 (8/25)				■				

【A01】 C# ではじめるWindowsプログラミング

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:11/25】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

1~2
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30~17:30 3日間(21時間)
12/9~12/11

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

今後、C#での開発に携わられる方。又予定の方。

3. カリキュラムの概要

C#言語の基本文法に関して学習し、演習を通してプログラミングスキルを習得します。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	1. プログラミングの考え方	2.0	◆Visual Studio 基本操作 ◆プログラミングの考え方 ◆オブジェクト指向の考え方
	2. プログラム作成の基本	5.0	◆C#の記述方法 ◆簡単なアプリケーションの作成
2日	3. アプリケーション作成	3.0	◆デバッグ ◆コントロールの使い方
	4. アプリケーション作成	4.0	◆イベントドリブン ◆マウスの利用方法 ◆NuGetの利用
3日	5. アプリケーション作成	4.0	◆データセット ◆ファイル入出力
	6. DBアクセス	3.0	◆Entity Framework ◆LINQ ◆コードファースト、データベースファースト
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

作って覚えるVisual C# 2017 デスクトップアプリ入門

6. 到達目標

- ・C# の基本的な文法について説明できる。
- ・Windowsフォームアプリケーションについて説明できる。
- ・ユーザからの入力を受け取る方法について説明できる。
- ・各種コントロールの使い方について説明できる。
- ・データベースアクセスについて説明できる。

7. 前提知識

アルゴリズムの基礎及びコンピュータの基礎知識

【A02】仕事の段取り力養成講座 ～プロジェクト型業務の遂行能力を身につけるために～

- 1. 研修要領** **【FISAタイアップ講座】**
- ・ITSS 1～2
 - ・受講料(税別・テキスト代込み) FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
 - ・実施時間 9:30～17:30 2日間(14時間)
 - ・実施日 11/12～11/13
 - 【申込締切日:10/29】
 - ・場所 麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

- 2. 対象者**
特になし

3. カリキュラムの概要

プロジェクトマネジメントの国際標準知識体系PMBOKをベースに、プロジェクト型業務での段取りの流れと考慮すべき点をケーススタディを通して習得します。
本コースは、演習題材をITプロジェクトではなく、社内イベント遂行プロジェクトとしています。そのため、ITエンジニアだけでなく、営業担当者やスタッフ業務従事者の方なども受講頂けます。

4. カリキュラムの詳細 2日間 (14時間)

1日	1. ビジネスを理解する	1.0	◆現在のビジネスがおかれている環境、業務の種類と特徴
	2. 仕事のPDCAサイクル	2.0	◆PMBOK、各種問題解決技法
	3. 業務の立ち上げ	2.0	◆業務目的と目標の明確化
	4. 業務計画	3.0	◆成果物と作業タスクの洗い出し ◆リスクの洗い出しと対策の検討 ◆作業スケジュール計画、コスト計画、品質計画、要員計画、発注計画、ステークホルダー分析とコミュニケーション計画
2日	5. 業務の実行・コントロール	2.0	◆実績の収集と是正 ◆見える化 ◆問題の発見と問題発生時の対処
	6. 業務の終結	4.0	◆教訓のまとめと報告 ◆グループ演習:進捗管理(演習→発表→解説) ◆まとめ
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「仕事の段取り力」 株式会社オフィス新

6. 到達目標

- ・自身のビジネスの特徴と問題点を明らかにする。
- ・プロジェクト型業務で考慮すべき視点(スコープ、タイム、コスト、品質、要員、協力会社、コミュニケーション、リスク)を理解する。
- ・プロジェクト型業務の流れである、立ち上げ、計画、実行・コントロール、終結の各段階において、どのようなことを段取り(計画)し、作業を進めていかなければならないのかを理解する。

7. 前提知識

特になし

【A03】 2日で学ぶネットワーク基礎技術

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:6/17】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

1～2
 FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
 9:30～17:30 2日間(14時間)
 7/1～7/2

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

ネットワークに関する知識を身につけたい方。

3. カリキュラムの概要

今や、インターネットは社会活動を行う上で必須の情報基盤となっています。そのしくみを支えるネットワーク技術について、実機演習を通して習得します。ネットワーク上の通信の基本からスイッチやルータなど通信機器の動作、さらにアプリを使って各種サービスを利用するしくみについて学びます。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	1. ネットワークの基礎知識	1.0	◆インターネットとは何か? ◆WANとLAN、WANの概要 ◆回線速度と容量
	2. ネットワーク通信の基礎	2.0	◆通信プロトコル ◆回線交換とパケット交換 ◆通信のレイヤ構造とデータのカプセル化 ◆OSI参照モデルとTCP/IPプロトコル
	3. LANの概要	2.0	◆LANの規格 ◆LANの機器構成 ◆イーサネット ◆MACアドレス
	4. TCP/IPプロトコル	2.0	◆ネットワーク層 -IPアドレス、サブネットマスク ◆トランスポート層 -ポート番号 -コネクション管理、TCPとUDP
2日	4. TCP/IPプロトコル(続き)	2.0	◆アプリケーション層 -名前解決、DNS -DHCP
	5. トラブルシューティングの基礎	1.0	◆スイッチを用いたネットワーク構築 ◆ネットワークコマンド
	6. ルーティング	1.0	◆ルータの機能 ◆ルーティングテーブル ◆静的ルーティングと動的ルーティング ◆ルーティングプロトコル
	7. IPアドレス	1.0	◆クラスフルアドレスとクラスレスアドレス ◆IPアドレスのサブネット化
	8. アドレス変換	1.0	◆IPv4アドレス枯渇問題 ◆プライベートアドレスとグローバルアドレス ◆NAT(アドレス変換)
	9. IPv6と無線LAN	1.0	◆IPv6の概要 ◆無線LANの規格 ◆セキュリティ
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
 ※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「おうちで学べるネットワークのきほん」 出版社:翔泳社

6. 到達目標

- ・インターネットのしくみが理解できる。
- ・ネットワークのトラブルシューティングができる。
- ・基本的なネットワークの構築ができる。

7. 前提知識

特になし

【A04】 Pythonの基礎と文章解析

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:6/24】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
7/8～7/10

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

他言語の経験があり、統計や文章解析に興味がある方。

3. カリキュラムの概要

統計分野やAIなどで新たに注目を浴びているPythonについて、基本文法からライブラリの利用方法を学ぶ研修です。また、文章解析の方法と応用例についても学びます。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	テキストマイニングについて	3.0	◆テキストマイニングとは ◆テキストデータの構造
	Pythonの概要	4.0	◆Pythonの基本文法 ◆オブジェクト指向 ◆ライブラリパッケージ
2日	統計	3.0	◆データの準備 ◆文字、単語単位の分析
	分析と利用1	4.0	◆連なり、N-gram
3日	分析と利用2	3.0	◆共起(コロケーション)
	分析と利用3	4.0	◆TF-IDF分析 ◆潜在的意味論に基づく分析、Word2Vec
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

Pythonによるテキストマイニング入門

6. 到達目標

- ・Pythonの基本的な文法について説明できる。
- ・テキストマイニングとは何かを説明できる。
- ・データ解析の手法を理解し、Pythonでデータ解析ができる。

7. 前提知識

他言語の経験があること。

【A05】 エンジニアのためのスキル強化 即効!! 伝わる「書き方」「話し方」

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日

【FISAタイアップ講座】

1～2
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
7/15～7/17

【申込締切日:7/1】

- ・場所

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

ドキュメンテーション、プレゼンテーション技能を伸ばしたいとお考えのエンジニアの方。

3. カリキュラムの概要

ITエンジニアは業務遂行のために、日々情報収集や自己学習を重ねています。しかし、これらの知見を他者に伝える技術を兼ね備えたエンジニアは不足しています。エンジニアの考え、プロジェクトの進行状況、技術的な見解の表明など、エンジニアでないとの的確な分析ができないことを文章に表現する技能、及びその話し方について、実践的な演習と共に学びます。上流SEやリーダーへのキャリアパスにも活用できます。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	「わかりやすく書く」ためのコツ	2.0	文章をわかりやすく書くためのテクニックを、6つのポイントで押さえます。
	書く力を向上させよう	3.0	文章力を向上させるための方法論について学びます。
	文書の役割	2.0	ワークフローの中での文書の役割について考えます。
2日	ドキュメント構造化事例	2.0	IT関連ドキュメントの構造化事例を紹介します。まずはこの書き方を身につけましょう。
	認知情報処理モデル	2.0	人間がどのように認知し、情報処理を行うのか、そのモデルについて学ぶことによって、より伝わりやすいドキュメントの書き方を考察します。
	ドキュメンテーションの先にあるもの	3.0	ドキュメンテーションだけでは改善しないコミュニケーションについて、その技法を学ぶことで別の角度から学びます。
3日	ドキュメンテーションの指導	3.0	自分だけではなく、同僚・部下に対して改善を促すことについて考察します。
	総合演習	4.0	実践的な題材についてのドキュメンテーションの実習を行い、事項伝達の訓練を行います。
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

＜文章嫌いではすまされない！＞エンジニアのための伝わる書き方講座 出版社:技術評論社

6. 到達目標

- ・何をすればわかりやすい文章が書けるようになるのか、その具体的な訓練方法を身に付ける。
- ・人間がどのように情報を認知し、理解するのかを学ぶことにより、わかりやすい文章を書くための指針を得る。
- ・分かりやすい文章の具体例を分析し、その中で用いられている手法を理解できる。
- ・他人に対して、分かりやすい文章を書くための具体的な指導方法が身につく。
- ・「必要なことを他人に伝達する」ためのプレゼンテーション技法が身につく。

7. 前提知識

エンジニアとしての実務経験があること。

【A06】 ITプロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント入門

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:7/7】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
 FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
 9:30～17:30 2日間(14時間)
 7/21～7/22

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

開発経験3年以上

3. カリキュラムの概要

プロジェクトのメンバやサブリーダーが、プロジェクト管理は何をすべきなのか(What)、どうやればいいのか(How to)を理解し、更にケーススタディを通して、プロジェクト管理の理解を深めることができる研修です。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	1. プロジェクトマネジメントの状況	1.0	◆ITプロジェクトの成功率 ◆失敗プロジェクトの考察 ◆失敗する要因 ◆成功するプロジェクトを増やすには
	2. プロジェクトマネジメントの全体像	2.0	◆プロジェクトの目的、特徴、体制 ◆プロジェクトリーダーの役割 ◆プロジェクトを取り巻く標準規格 (PMBOK、ISO9000、CMMI、BABOK、ITIL)
	3. プロジェクトマネジメントプロセスの全体像	2.0	◆立ち上げ、計画、実行、監視・コントロール、終結
	4. プロジェクトの立ち上げ	2.0	◆営業活動と開発プロジェクト ◆契約に関する基礎知識、留意点
2日	5. プロジェクトの計画	3.0	◆プロジェクト計画書に記述すべきこと
	6. プロジェクトの実行/監視・コントロール	2.0	◆スコープマネジメント(仕様確定の流れ、変更管理) ◆タイムマネジメント(進捗管理)
	7. 終結	2.0	◆プロジェクト完了報告と教訓共有(定性的、定量的)
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
 ※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ITプロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント」 株式会社オフィス新

6. 到達目標

- ・IT業界におけるプロジェクトマネジメントの現状と課題 について理解する。
- ・プロジェクトマネジメントの国際標準知識体系PMBOKの基礎を理解する。
- ・PMBOKの体系に沿い、IT開発プロジェクトにおける、立ち上げ(提案、見積、契約)、計画(プロジェクト計画策定)、実行・コントロール(Q(品質)、C(予算)、D(進捗)、要員、協力会社の管理など)、終結(プロジェクト完了報告)における具体的な用語、手順、留意点 を理解する。

7. 前提知識

特になし

【A07】 ASP.NET Core MVC (C#編)

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:7/14】

【FISAタイアップ講座】

2~3
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30~17:30 3日間(21時間)
7/28~7/30

- ・場所

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

ASP.NET開発者の方。

3. カリキュラムの概要

フレームワークASP.NET MVCについて学習します。MVCはテストや標準技術をより使いやすくなっており、その利用方法を実際にサイトを作成しながら学習します。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	ASP.NET MVCの概要	2.0	◆旧来のWebフォームとの違い ◆主な特徴 ◆開発環境
	Scaffolding機能	2.0	◆一覧画面、詳細画面の作成 ◆新規登録、編集画面の作成 ◆削除画面の作成
	モデル	3.0	◆データモデル ◆マイグレーション ◆LINQ
2日	ビュー	2.5	◆Razor構文 ◆ビューヘルパー ◆レイアウト
	コントローラ	3.0	◆モデルバインド ◆ActionResult ◆状態管理
	ビューの応用	1.5	◆List-Detail
3日	ビューの応用(続き)	3.0	◆複数ビューの活用
	ルーティング・状態管理	3.0	◆MapRouteメソッド ◆セッション、クッキー
	認証機能	1.0	◆認証機能
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

ASP.NET MVCプログラミング入門 (マイクロソフト関連書)

6. 到達目標

- ・ASP.NET MVCとは何かを説明できる。
- ・基本的なMVCモデルを理解し開発やテストが行える。
- ・ルーティングやクライアントサイドスクリプトを利用する方法を理解する。

7. 前提知識

ASP.NETの基本的な知識がある方。ASP.NETの開発経験があれば望ましい。

【A08】IoT・ビッグデータにも活用！すぐに使える統計解析

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:7/21】

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
8/4～8/6

- ・場所

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

小売や広報宣伝活動、マーケティングリサーチに統計的方法を使いたい方、ビッグデータ分析に興味をお持ちの方。

3. カリキュラムの概要

統計解析の基本的な各種法について、その用途、計算方法、適用方法を通して解説し、種々の実データを用いた分析演習を行います。これらはプロジェクトの進捗管理や実績管理、売上予測や広告の効果測定、人事管理、市場分析など様々な局面で活用できます。面倒な計算部分はソフトウェアに任せ、より重要な「統計を何にどう使うか」に重点を置くことで、即効性を高めた研修です。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	統計の基本	1.5	度数分布や代表値など、統計の基本を解説します。
	相関と回帰	1.5	二軸のデータについて散布図・相関・回帰を調べ、その値を意味や補間・補外の扱い方を解説します。
	確率変数と確率分布	2.0	確率分布、期待値、分散、標準偏差、正規分布、二項分布など、統計解析に必須の各種数値について解説します。
	推定	2.0	母平均、母分散、母比率の点推定・区間推定について解説します。一部のデータから全体の様子を推定したい時に用います。
2日	検定	2.5	母平均、母分散、母比率、母平均の差、母分散の比の検定について解説します。これは集団の差の有無や、施策の効果測定に用います。
	多変量解析	2.0	重回帰分析、主成分分析、判別分析などの多変量解析について解説します。これは、複数の広告媒体のそれぞれがどの程度役に立ったか、また多数の条件がそれぞれどの程度影響を持っていたかなどを調べるために用います。
	応用演習	2.5	ここまでで学んだ各種の手法を用いて、実際に様々な分析を行い、データから有意な情報を読み取る実習を行います。
3日	アプリケーション実装	3.0	代表値算出・相関/回帰計算・推定・検定・多変量解析など、高度な数式をアプリケーションに実装する技法について解説します。
	アプリケーション実装演習	4.0	実際にデータを使用して、アプリケーション実装演習を行います。
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

Excelでできるらくらく統計解析 出版社:自由国民社

6. 到達目標

- ・統計解析を必要とする企業活動を行う顧客に、統計解析を組み込んだ応用アプリケーションシステムについて提案できる。
- ・様々な統計解析の手法を理解する。
- ・統計解析を行った結果について、そこから適切な情報を得、各種業務改善提案に活用できる。
- ・統計解析手法について、その優位性を理解し、必要とする人に解説することができる。

7. 前提知識

Microsoft Excelの基本的な使用方法が理解できていること。マクロ編集の経験があることが望ましい。

【A09】 **New IoT**に活用！ ハードの知識ゼロから始める計測・記録実験講座

1. 研修要領 【FISAタイアップ講座】
- ・ITSS 2～3
 - ・受講料(税別・テキスト代込み) FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
 - ・実施時間 9:30～17:30 3日間(21時間)
 - ・実施日 8/19～8/21
 - 【申込締切日:8/5】 【最大人数:10名】
 - ・場所 麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者
IoTを今後業務に生かせないかとお考えの方。

3. カリキュラムの概要

この研修では、IoTで利用されるセンサーや通信機器を簡単に利用できることを実感していただく研修です。一般的なWindows PCにArduinoと各種センサーを接続体験を行い、新たな案件や提案につなげられることを目指します。実際にArduinoにセンサーを接続・配線を行い、いろいろな実験(テスト)を行います。ハードウェアの知識や電気回路などの知識は不要です。
※センサーは、温度・湿度・気圧・明度・電流・アルコール・距離・圧力・加速度などを予定しています。

4. カリキュラムの詳細 3日間 (21時間)

1日	IoT入門と機材紹介	1.0	IoTについての概要と、本研修で利用するハードウェア・ソフトウェアを紹介します。
	Arduino環境設定とテスト	2.0	Arduinoへのプログラムの書き込みを行うためのソフトウェアをセットアップし、動作確認を行います。
	デジタルとアナログ	2.0	Arduinoが備えるデジタル入出力とアナログ入出力について解説し、実験を行います。
	LCDの利用	2.0	Arduinoに小型液晶パネルを取り付け、リアルタイムで文字表示する実験を行い、センサの動作を直接確認できる環境を用意します。
2日	高性能なシリアル通信I2C	2.0	一部シールド(Arduinoの取り付けオプション・ハードウェアのこと)には、I2Cによる通信機能を備えたものがあります。I2Cによるデータ取得の実験を行います。
	SDカードの読み書き	3.0	Arduinoから直接SD/microSDカードにデータ書き込みができれば、装置をスタンドアロン稼働させたり、データを外部から引き渡し蓄積することができます。SDカードを利用する実験を行います。
	データ通信	2.0	IoTの“I”についてです。Arduinoを直接ネットワークに接続し、通信する実験を行います。
3日	各種センサの利用	4.0	様々なセンサーをArduinoに接続し、実際に計測・記録する実験を行います。
	【総合演習】	3.0	ここまでで学習したことを活用して、簡易的な計測・記録システムを作る演習を行います。
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

- ①CQ出版社: Arduinoで計る, 測る, 量る
(注)市販本テキストは変更する場合があります。
- ②Arduino UNO(又はその互換品)、及び各種拡張シールド

6. 到達目標

- ・センサーによって、さまざまな事象を無人で監視する仕組みが作れることを理解する。
- ・どんなセンサーで何か計測できるかを理解する。
- ・マイコンボードを利用することで、各種センサーを必要な個所に配置し、その計測結果を有機的に活用する手段を身に着ける。
- ・マイコンボードやセンサーの大きさや価格、ロバストネス(頑丈さ)を理解する。
- ・IoT導入への障壁がどの程度のものであるか、具体的に把握する。

7. 前提知識

C/C++/C#/Java/JavaScript/PHPなどでのプログラミングの経験があること。

【A10】 ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける見積技法

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:8/12】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
8/26～8/27

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

プロジェクト型業務に従事する方、管理する方 / ITプロジェクトを支援する関連部署に所属する方。

3. カリキュラムの概要

本コースでは、見積ミスを防ぐために、まずはどのような見積技法があるのか、その具体的な方法はどうか、技法の適用にはどのような留意点があるのか等の知識を習得した上で、自組織の現場で検証・経験値として蓄積し、見積精度を高めていく方法を習得します。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	0.オリエンテーション	0.5	◆プロローグ ◆自己紹介
	1.見積もりとは	2.0	◆ITプロジェクトの見積もりを取り巻く環境 ◆良い見積もりとは？ ◆様々な見積もり技法 ◆見積もりとプロジェクトマネジメントの関係
	2.見積もりの準備	0.5	◆最初にやるべきこと ◆マトリクスの選定
	演習1 標準値法による見積	0.5	◆演習問題説明 【演習／発表】
	3.規模見積もり	4.0	◆標準値法について ◆FP法によるデータ・ファンクションの計測 ◆FP法によるトランザクション・ファンクションの計測 ◆FP法の派生手法
	演習2 規模見積もり:FP法	3.0	◆演習問題説明 【演習／発表】
	4.工数見積もりと期間見積もり	1.0	◆係数モデルによる工数見積もり ◆WBSによる工数見積もりと期間見積もり ◆保守開発における工数見積もり
	5.コスト見積もりと価格の設定	0.5	◆コスト見積もり ◆リスク分析と価格の設定
2日	演習3 工数・コスト見積もりとPJ計画への反映	0.5	◆演習問題説明 【演習／発表】
	6.見積書の作成と組織的な取り組み	0.5	◆見積書の作成 ◆組織的な取り組み
	7.見積もり査定 8.まとめ、総括	1.0	◆見積もり査定 ◆まとめ、ふりかえり
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ITプロジェクトの見積技法」 株式会社オフィス新

6. 到達目標

ITプロジェクトにおける見積技法を身に付ける。

7. 前提知識

プロジェクトの実施経験があること。

【A11】2日で学ぶネットワーク応用技術

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:8/18】

【FISAタイアップ講座】

2～3
 FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
 9:30～17:30 2日間(14時間)
 9/1～9/2

- ・場所

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

職場や客先などのネットワーク構築に携わっている方、またはネットワークの知識を深めたい方。

3. カリキュラムの概要

IT技術者に要求されるネットワーク技術を、スイッチやルータを用いた実機演習を通して習得します。実際にネットワーク設計を行った後、設計書を元にネットワーク構築を行います。また、企業内LAN構築に必要なVLANやスパンニングツリーなどのしくみについて学びます。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	1. ネットワーク通信の基礎	1.0	◆WANとLAN ◆回線交換とパケット交換 ◆階層の考え方
	2. TCP/IPプロトコル	1.0	◆OSI参照モデルとTCP/IP ◆MACアドレス、IPアドレス、ポート番号 ◆主要ネットワークコマンドを用いたネットワーク動作確認
	3. ルーティング	1.0	◆ルーティングテーブル ◆デフォルトルート ◆静的ルーティングと動的ルーティング ◆ルーティングプロトコル
	4. ネットワーク構築演習	4.0	◆スイッチ ◆ルータを用いたネットワーク構築
2日	5. IPアドレス	2.0	◆IPアドレスのサブネット化 ◆ブロードキャストドメイン ◆経路集約
	6. ネットワーク設計演習	3.0	◆物理設計と論理設計 ◆ネットワーク設計 ◆構築
	7. 企業LANの基礎	1.0	◆レイヤ2スイッチとレイヤ3スイッチ ◆企業LANの構成例と構成機器の概要 ◆企業LANで使用する主な機能とプロトコル
	8. VLANの基礎 とネットワークの冗長化	1.0	◆VLANとは ◆アクセスポートとトランクポート ◆IEEE802.1Q ◆VLANIによるネットワーク構成 ◆リンクアグリゲーション ◆スパンニングツリー ◆VRRP
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
 ※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「インフラ／ネットワークエンジニアのためのネットワーク技術&設計入門 第2版」
 出版社: SBクリエイティブ

6. 到達目標

- ・企業LANを構成する機器と機能について理解できる。
- ・ネットワークの設計および構築ができる。
- ・ネットワークの冗長化について理解できる。

7. 前提知識

ネットワークの基礎知識。(基礎編を受講済みであることが望ましい)

【A12】 Raspberry Pi で学ぶPython＋機械学習

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:8/25】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
9/8～9/10

【最大人数:10名】

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

今後、AIなどを利用したシステムの開発に携わられる方。又、機械学習やディープラーニングに興味をお持ちの方。

3. カリキュラムの概要

Raspberry Pi を使って、Pythonの基礎をベースに機械学習、画像処理、ディープラーニングなどを学びます。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	1.機械学習とは	1.0	機械学習、人口知能、ディープラーニングの概要を理解します。
	2.Raspberry Pi準備	3.0	Raspberry Pi の環境を構築し動作を理解します。
	3.Pythonの基本文法	3.0	Pythonの基本的な構文について理解します。
2日	3.機械学習基礎	2.0	テキストの例題を使用し、機械学習の基本を理解します。
	4.画像の分類	5.0	テキストの例題を使用し、画像の分類を行う方法を理解します。
3日	5.アプリケーション構築	3.0	テキストの例題を使用し画像処理によるアプリケーションを構築します。
	6.ディープラーニングについて	4.0	ディープラーニングについて、フレームワークを利用して学習します。
		21.0H	

※最低開催人数は5名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

秀和システム:「画像認識プログラミングレシピ」

6. 到達目標

- ・Raspberry Pi上の操作が行えるようになります
- ・Pythonによる開発が行えるようになります
- ・機械学習やディープラーニングとは何か説明できるようになります
- ・機械学習を用いたアプリケーションを開発できるようになります

7. 前提知識

コンピュータの基礎知識及びエンジニアとしての実務経験があること。

【A13】 即効！パフォーマンスを上げる DB/SQLチューニング

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
9/16～9/18

【申込締切日:9/1】

- ・場所

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

基礎的なSQL文について理解できている方、長期間運用しているシステムのDBパフォーマンス低下にお悩みの方。

3. カリキュラムの概要

データベース応用システムのパフォーマンス向上に即効性のあるSQLの書き方、インデックスの使用方法について詳細に解説します。またDBMSのアーキテクチャについて詳細に解説します。SQLを既に利用しているエンジニアの方が、DBMSの構造を理解した上で、さらに深くSQLを効率的にかつ効果的に利用できるような学習します。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	1.SQLチューニング(1)	7.0	◆DBMSのアーキテクチャ ◆SQLの基礎 ◆SQLにおける条件分岐
2日	2.SQLチューニング(2)	7.0	◆集約とカット ◆ループ/結合 ◆サブクエリ
3日	3.SQLチューニング(3)	3.0	◆SQLにおける順序 ◆更新とデータモデル ◆インデックスを使いこなす
	4.演習	4.0	【演習問題】
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

- ・技術評論社:SQL実践入門 高速で分かりやすいクエリの書き方
- ・オリジナル教材

6. 到達目標

- ・データベースのパフォーマンス向上のための各種施策について理解する。
- ・運用時のパフォーマンス低下を考慮した適切なDB及びクエリ設計ができるようになる。
- ・データベースへのクエリパフォーマンス向上の手段について、論理的に選択することができるようになる。

7. 前提知識

基礎的なSQL文について理解できていること。

【A14】 ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける品質マネジメント

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
9/24～9/25

【申込締切日:9/10】

- ・場所

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。

3. カリキュラムの概要

プロジェクトを遂行する上で、どうすれば品質を担保し、客先に対して品質が高いということを説得することができるかをケーススタディを通して習得します。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	0.オリエンテーション	0.5	◆プロローグ ◆自己紹介
	1.ITプロジェクトとソフトウェア品質	0.3	◆品質問題の考察 ◆ソフトウェア品質を向上させるには
	2.品質についての基礎知識	0.5	◆品質の定義 ◆品質の2つの側面 ◆品質とコスト ◆品質マネジメントの基本的な考え方
	3.ソフトウェア品質マネジメントの課題と重要性	0.5	◆ソフトウェア品質の特徴と課題 ◆データで品質を語ることで、品質改善が進む
	4.ソフトウェアの品質とは	0.5	◆ソフトウェアの品質とは ◆成果物の品質尺度と作業の品質尺度 ◆ソフトウェアのバグとは
	5.ソフトウェア品質管理の全体像	0.3	◆ソフトウェア品質管理の全体像 ◆高品質ソフトウェア実現に向けた活動の要点 ◆各開発工程における品質保証の観点
	6.品質計画 演習1 品質目標値の設定	1.5	◆プロジェクト計画と品質計画 ◆品質計画の基本方針 ◆品質目標値の設定と品質データの収集 ◆演習ケース説明、問題説明【演習/発表】
	7.品質保証 演習2 テスト設計書の評価	2.0	◆品質保証体系 ◆レビューの目的と留意事項 ◆テスト技法の種類とテスト計画 ◆テスト網羅性の観点 ◆演習問題説明【演習/発表】
8.品質管理	1.0	◆品質管理の概要 ◆品質データ分析の実施 ◆レビュー速度とバグ密度の関係 ◆テスト密度とバグ密度の関係 ◆テスト工程におけるゾーン分析の例とバグ管理曲線	
2日	演習3 製造完了時における品質見解 演習4 総合テスト途中における品質見解	5.0	◆演習問題説明【演習/発表】
	10.品質改善活動	1.0	◆改善の積み重ねが現場力を磨く ◆改善活動のフレームワークと改善活動の2つのアプローチ ◆QC7つ道具、新QC7つ道具
	11.PJ完了時における教訓の整理と共有 12.まとめ	1.0	◆プロジェクト完了報告 ◆ヨコテンでチームの成果を組織の成果に ◆まとめ ◆ふりかえり
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ケースに学ぶITプロジェクトにおける品質マネジメント」 株式会社オフィス新

6. 到達目標

ITプロジェクトにおける品質マネジメントの計画および管理ができるようになる。

7. 前提知識

プロジェクトの実施経験があること。

【A15】 ケースに学ぶ ITプロジェクトにおけるリスクマネジメント

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:9/24】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
10/8～10/9

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

プロジェクト型業務に従事する方、管理する方 / ITプロジェクトを支援する関連部署に所属する方。

3. カリキュラムの概要

本コースでは、ITプロジェクトにおけるリスクマネジメントの考え方を習得した上で、ケーススタディを通して、実践の場で注意すべきリスクの視点を養い、どのように対策を打つべきかを習得します。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	0.オリエンテーション	0.5	◆プロローグ ◆自己紹介
	1.ITプロジェクトを取り巻く状況	0.5	◆厳しさを増すITプロジェクト環境 ◆システム開発PJの成功率 ◆成功するプロジェクトを増やすには
	2.プロジェクトマネジメントにおけるリスクマネジメントの位置づけ	0.5	◆PMBOKとは ◆ITシステム開発とPMBOKの関係 ◆プロジェクトマネジメントの全体イメージ
	3.リスクマネジメントとは	1.0	◆リスクマネジメントとは ◆失敗したプロジェクトでは・・・ ◆リスクマネジメントの位置付けと効果 ◆リスクの種類とシステム開発のリスク事例
	4.リスクマネジメントのプロセス	0.5	◆PMBOKにおけるリスクマネジメントの流れ ◆リスクマネジメントのプロセス概要 ◆リスクマネジメントのイメージ ◆リスクを管理する工程
	5.リスクマネジメント計画	0.5	◆リスクマネジメント計画
2日	6.リスクの識別 演習1 リスクの識別	3.5	◆リスク要因とリスク事象 ◆リスクの表現について ◆リスク識別のツールと技法 ◆リスク分類例 ◆記載しにくいリスクも記述する ◆演習問題説明【演習/発表】
	7.リスクの定性的分析	1.0	◆定性的分析のリスクスコア算出方法 ◆リスク評価尺度の例 ◆発生確率・影響度マトリクス
	8.リスクの定量分析	0.5	◆リスクの定量的分析の方法 ◆定量的分析の効果と重要性
	9.リスク対応計画	0.5	◆予防対策と発生時対策 ◆リスク対応策の立案方針 ◆リスク対応戦略と二次リスクの検討 ◆リスク管理表の記述例
	10.リスクの監視・コントロール 演習2 リスク対応策の検討	4.0	◆リスク監視・コントロールの狙い ◆リスクマネジメントサイクルの繰り返し ◆組織内での教訓共有 ◆演習問題説明【演習/発表】
	11.まとめ、総括	1.0	◆まとめ
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ITプロジェクトにおけるリスクマネジメント」 株式会社オフィス新

6. 到達目標

プロジェクトにおけるリスクマネジメント力を身に付ける。

7. 前提知識

プロジェクトの実施経験があること。

【A16】 問題解決のための論理的思考力強化

1. 研修要領 **【FISAタイアップ講座】**
- ・ITSS 1～2
 - ・受講料(税別・テキスト代込み) FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
 - ・実施時間 9:30～17:30 2日間(14時間)
 - ・実施日 10/14～10/15
 - 【申込締切日:9/30】
 - ・場所 麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者
論理的思考を業務で活用したい方。

3. カリキュラムの概要

本コースでは、問題解決のための論理的思考力について学んでいただき、課題に対して「論理的」に考え、現状の分析から解決策の提案ができる人材を目指します。

4. カリキュラムの詳細 2日間 (14時間)

1日	1. 論理的思考の必要性	3.5	◆なぜ戦略遂行や業務改善が上手くいかないのか ◆論理的思考でできること(ゼロベース思考・仮説思考) 【演習:解説】
	2. 論理展開の基本パターン	3.5	◆演繹法/帰納法 ◆ピラミッドストラクチャー ◆因果関係の確認 ◆間違った論理展開 【演習:解説】
2日	3. 論理の構造を作る	3.5	◆MECEの考え方とロジックツリー ◆各種フレームワーク (マトリクス分析、3C分析、5Forces分析、PPM分析、SWOT分析) ◆顧客ニーズをロジックツリーで考える ◆自社の事業環境をクロスSWOT分析で考える ◆業務改善のポイントを因果関係で考える 【演習:解説】
	4. 総合演習	3.5	◆事例研究
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

- ・「論理的思考」の基本を知る。
- ・「論理的思考」に必要なフレームワークを知る。
- ・演習を通して「論理的思考」のフレームワーク活用法を知る。

7. 前提知識

特になし

【A17】プロジェクトチームの現場力向上 ～プロジェクトのファシリテーション～

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:10/14】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

- 2～3
- FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
- 9:30～17:30 2日間(14時間)
- 10/28～10/29

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。

3. カリキュラムの概要

若手からベテランまで、すべてのメンバが、協力し合って創発的に成果を出し、このチームでもう一度働いてみたいと思わせるようなチーム作りの方法を習得します。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	1.プロジェクトの現場を取り巻く環境	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆システム開発PJを取り巻く環境 ◆経営の中で“ヒト”への関心の高まり ◆様々な人々から構成されるチーム ◆ワークライフバランスの必要性
	2.注目される「現場力」	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆“現場力”で注目される企業 ◆個が輝き響き合うチームの要素 ◆現場力による差別化が競争力を生み出す ◆現場力が浸透すると・・・
	3.成功するプロジェクトを増やすには	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆成功プロジェクトを増やすには ◆マネジメントと現場力の融合
	4.プロジェクトマネジメントに求められるスキル	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆プロジェクトマネージャの役割 ◆プロジェクトマネジメントに求められるスキル ◆情報を“配る”マネジメント
	5.現場力向上に役立つ理論～モチベーション編～ 演習1 モチベーション編	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆モチベーションの基礎理論 ◆目標とモチベーション ◆メンバのやる気を高める5つのステップ ◆当事者意識を持たせるための3つのキーワード ◆演習問題説明【演習/発表】
	6.現場力向上に役立つ理論～コミュニケーション編～	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニケーションの流れ ◆コミュニケーションの基本モデル ◆コミュニケーション・バリア ◆バーバル/ノンバーバルコミュニケーション ◆様々なタイプのステークホルダとの対応
2日	演習2 コミュニケーション編	2.0	◆演習問題説明【演習/発表】
	7.現場力向上に役立つ理論～リーダーシップ編～ 演習3 リーダーシップ	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆リーダーシップの機能 ◆サーバントリーダーシップ ◆様々なリーダーシップ理論 ◆優れたリーダーの共通する4つの戦略 ◆ほめると叱る ◆演習問題説明【演習/発表】
	8.現場力向上の実践 演習4 チーム目標 演習5 ペーパータワー 演習6 自社でのヨコテン検討	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆手法の導入ではなく風土を作り上げる ◆目に入れても痛くないチーム目標を設定する ◆改善の2つのアプローチ ◆朝会、見える化、ふりかえり ◆チーム力は作業標準や仕組みに表れる ◆ヨコテンでチームの成果を組織の成果に ◆発表会でチーム間の相乗効果を狙う ◆演習問題説明【演習/発表】
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「プロジェクトチームの現場力向上～プロジェクトのファシリテーション～」
株式会社オフィス新

6. 到達目標

ITプロジェクトにおけるファシリテーション能力を身に付ける。

7. 前提知識

エンジニアとしての実務経験があること。

【A18】 エンジニアのための ロジカルライティング & ロジカルシンキング

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日

【FISAタイアップ講座】

1～2
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
11/17～11/18

【申込締切日:11/3】

- ・場所

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

ビジネスでの思考力とドキュメント力を強化したい方。

3. カリキュラムの概要

論理的な思考「ロジカルシンキング」とそれに伴う論理的な文書(わかりやすい文書)を書く「ロジカルライティング」を身に着け、上司やチーム、顧客などに対して、コミュニケーションを採ることができることを目標とします。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	1. ロジカルライティングの基本	6.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 開発業務における文書とは ・ビジネス文書と技術文書 ◆ 誤解のない文章 ・書き方の基本とビジュアル化 ◆ IT技術者とドキュメント ・IT技術者としてのドキュメント ・論理的に整理する <p>【演習】</p>
	2. ロジカル・シンキングの基本	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 発散と収束 ・発散技法と収束技法
2日	2. ロジカル・シンキングの基本 一つづきー	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 問題を解決する ・問題解決のプロセス ・構図による分析 ◆ 論理的に整理する ・3種類のツリー ・ロジックを組立てるアプローチ ・論理展開 <p>【演習】</p>
	総合演習	2.0	【解決策の立案演習】
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト 「ロジカルライティング & ロジカルシンキング」

6. 到達目標

- ・論理的な分析や組み立ての基本が身に着く。
- ・誰にでも分かり易い文書を書くことができる。
- ・ストーリーの作り方、図解の表現の仕方のスキル向上。

7. 前提知識

特になし

【A19】 エンジニアのための交渉スキル向上のための ロジカルネゴシエーション

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日
- 【申込締切日:1/6】
- ・場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
2021/1/20～1/21

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

ビジネスにおける交渉の基礎力を強化したい方。

3. カリキュラムの概要

ソリューション提案などビジネスにおける交渉の基礎力を強化したい方を対象とした、交渉力強化コースです。お客様や社内での交渉力を高めるための、交渉プロセスと交渉技法を身につけることを目的とします。

4. カリキュラムの詳細

2日間 (14時間)

1日	1. ロジカルネゴシエーション概要	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ネゴシエーションとは ◆ ロジカルネゴシエーションとは ◆ ロジカルネゴシエーションのステップ
	2. 論理的に説明する	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ロジカルシンキングの基礎 ◆ 論理的順序法 ◆ 論理的な話しの展開 <p>【ワークショップ】</p>
2日	3. 相手の理解	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 相手の納得のため ◆ ビジネス・ウィンとパーソナル・ウィン ◆ 言動による行動特性
	4. 納得してもらえる説得方法	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 説得の場での考慮点 ◆ 相手が納得する話し方・聞き方 ◆ 感情の取り扱い ◆ 応酬話法 <p>【ワークショップ】</p>
		14.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト「交渉スキル向上のためのロジカルネゴシエーション」

6. 到達目標

社内外を問わず、ビジネスにおける必須の交渉スキルの基本を身に付ける。

7. 前提知識

特になし

【A20】 経産省「サイバーフィジカルセキュリティ対策フレームワーク」対応 セキュリティリスク徹底抑制入門

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・受講料(税別・テキスト代込み)
- ・実施時間
- ・実施日

【申込締切日:2/3】

- ・場所

【FISAタイアップ講座】

2～3

FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)

9:30～17:30 3日間(21時間)

2021/2/17～2/19

麻生教育サービス セミナールーム ※会場の変更もあります。

2. 対象者

情報セキュリティについて学びたいと考えている方、自社システムや自社のセキュリティ体制の品質向上を目指している方。

3. カリキュラムの概要

Society5.0時代は、すべての企業に十分な情報セキュリティ対策を求められる時代です。本講座では、Society5.0時代に向けて、システム設計と開発をメインテーマにセキュリティリスクを抑制する方法を徹底的に追及します。経産省2019年4月発表のサイバーフィジカルセキュリティ対策フレームワークに対応した最新の内容を扱う講座です。

4. カリキュラムの詳細

3日間 (21時間)

1日	1. 情報セキュリティの概要	0.5	情報セキュリティとは何か、その概要を解説し、本講座の趣旨を解説します。
	2. 情報セキュリティ基礎	4.0	マルウェアや不正プログラム、サイバー攻撃手法について学びます。
	3. CPSFのコンセプト	2.5	Society5.0の三層構造と6つの構成要素を解説し、これを足掛かりにサイバーフィジカルセキュリティ対策フレームワーク(以下CPSF)のコンセプトを解説します。
2日	4. CPSFのポリシー	4.5	コンセプトで示したモデルを活用したリスク源の整理と、リスク源に対応する対策要件を確認します。
	5. CPSFのメソッド	2.5	ポリシーで確認した対策要件に対応するセキュリティ対策の具体例を確認します。
3日	5. CPSFのメソッドーつづきー	4.0	
	6. 問題演習	3.0	情報セキュリティマネジメント試験の午後問題を利用して課題解決の演習を行ったうえで、全員で協力してシステム設計・開発時のセキュリティリスクへの対策法を立案する演習を行います。
		21.0H	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

- ・よくわかるマスター情報セキュリティマネジメント試験対策テキスト&過去問題集
- ・オリジナル教材

6. 到達目標

- ・「企業の情報資産を守る」ことについて、何から手を付けていけば良いのかが分かる。
- ・経産省フレームワーク「サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク」の概要が理解できる。
- ・各種セキュリティ対策の方法と、その実施・運用管理の具体的な方法が分かる。
- ・各種セキュリティ啓発・人的教育の方法が分かる。

7. 前提知識

コンピュータに関する基礎知識(プログラミング技能不要)

